

令和4年度 横浜市阿久和地区センター事業計画書

1 設置目的を踏まえた管理運営計画

地区センターは、地域の住民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、サークル活動などを通じて相互交流を深めていくことを目的としています。この設置目的を達成するため、瀬谷区役所との連携を図りながら、次の方針に基づき地域に密着した施設の運営に努めます。

- ① センター委員会、利用者会議などにおける区民のニーズを反映した施設運営
- ② 幅広い年齢層やニーズに対応した自主事業の実施と自主グループの創設支援など
- ③ 地域の団体と連携した日々の活動やイベントを通じた活動拠点の提供
- ④ 瀬谷区政の重点施策である「子ども・青少年の育成」「健康増進、福祉の充実」「安全・安心のまちづくり」「魅力の創出、区民協働の推進」の事業に対する協力

2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

阿久和地区センターは、瀬谷区南部に位置し、旭区、泉区にも接する地域にあります。この地域は、樹林地や水辺等の自然環境に恵まれており、阿久和北部連合自治会、阿久和南部連合自治会、三ツ境連合自治会、宮沢連合自治会などの各地区連合会の活発な地域活動の拠点としての役割を担っています。これらの地域のコミュニティの形成はかなり進んでおり、瀬谷区南部に住まわれている方々は「阿久和」という古くから有る名称に慣れ親しまれていると思います。

このような地域に立地する阿久和地区センターは、次のような施設運営を目指します。

- ① 地域住民の交流の場として、また、自主的な地域活動の支援の場として運営します。
- ② だれもが気軽に利用でき、行ってみたい魅力ある地区センターを目指します。
- ③ 職員間の情報共有や連携強化を図り、利用者満足度の高い運営を目指します。
- ④ 令和3年4月から稼働した予約システムの導入等により事務及び経費の効率化に努めます。また、その余力で更なるサービス向上に努めます。

3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長、副館長、スタッフを配置し、責任者を含めて3名以上が勤務する体制により、施設の円滑な運営に努めます。

個人情報保護研修を全職員に実施し、法及び条例の趣旨の周知とともに、日々の事務における個人情報の保護の徹底や人権研修の実施による人権意識の向上を図ります。

事故対応マニュアル等を整備するとともに併設施設である阿久和地域ケアプラザと共に、年2回消防訓練を行います。また、日頃から防犯・防災等の緊急時対応には万全を期します。

建物・設備については、開館して26年になるため、損耗や老朽化の状況把握に努め、安全で快適な公共施設として維持・管理に努めます。また、施設維持管理担当嘱託職員を活用して、館内のLED化を順次進め、CO2削減に努めます。

4 利用者ニーズの把握、サービス向上策、利用促進策

利用者ニーズの把握については、アンケートを毎年実施するほか、利用者会議の開催や、ご意見箱に寄せられるご意見・要望等により幅広い年代層のニーズ把握に努めます。また、地域住民の代表者で構成される地区センター委員会でのご意見をお聞きするほか、地域に出向いて、きめ細かく情報収集を行い、地域ニーズの把握に努めます。

サービス向上策については、寄せられたサービスに関するご意見・要望等は貴重な財産であると認識し、原因分析と迅速な対応に努めます。なお、即座に対応できないご意見に対しては、理由や

代替案をお示しすることにより説明責任を果たすとともに、情報提供に努めます。また、職員の笑顔でさわやかな応対とともに最善のサービスを提供するように努めます。

利用促進策については、センターだより、ホームページ、SNS 等を活用して、事業紹介を行うとともに、広報よこはまや地域情報誌などに積極的に情報提供を行うほか、利用団体からの会員募集や見学＆体験会等の情報掲示を行います。また、人気図書の充実を図るなど利用促進に努めます。

5 自主事業計画

自主事業については、センター委員会や利用者アンケートのご意見の反映に努めながら、次のとおり、事業を企画してまいります。

- ・幼児から高齢者まで、誰でも気軽に参加でき、相互交流と地域コミュニティの醸成を支援するため幅広いジャンルの事業を企画します。企画にあたっては、可能な限り地元から講師をお迎えし、地域の人材活用に努めます。また、午後や夜間の開催を企画するなど多様な参加ニーズに対応することで部屋の稼働率向上にも繋げるよう努めます。なお、併設されている阿久和ケアプラザや区民施設協会・せや傘下の瀬谷センターとも協力を図ります。2月には「センターまつり」を開催し、日頃の活動の成果（作品や演技）の発表の場を提供します。
- ・子ども達の健全な成長と子育てを支援するため、低料金又は無料で参加できるワンパク事業を企画します。7月には「おもしろ何でもチャレンジ」を企画し、近隣の高校や中学の協力を得て、生徒との交流を通じて、子どもたちに科学への興味を促進してもらう場を提供します。
- ・自主活動グループの形成を支援するため、より魅力あるニーズを捉えた事業を企画します。また、事後グループに対して、6回の優先利用を認めるなど自主活動グループの育成を支援します。

6 新型コロナウイルス等感染予防対策

- ・入館に際して、検温、消毒、マスク着用等を徹底
- ・体育室、2階入口、図書コーナー、プレイルーム、2階トイレに消毒液を設置
- ・体育室と2階入口に、来館者自ら検温ができる自動検温機を設置
- ・飛沫感染防止対策として、飲食コーナーには、机にアクリル板、1階ロビーに感染防止幕を設置したベンチを配置
- ・部屋の利用に際しては、感染防止のため、窓開け、扇風機・換気扇等の使用で換気を徹底
- ・各部屋には加湿器を設置
- ・部屋利用後には、使用物品の消毒、換気を実施。特に、音楽室は、防音対策のため窓開けができないことによる密閉性が高いため、ロスナイを換気モードで使用し、扇風機、空気清浄機を併用。カラオケ利用に際しては、マイクカバーを使用（感染が懸念される場合には利用を中止）
- ・学習室、プレイルーム、飲食コーナー、娯楽コーナーは、定期的に消毒・換気を実施
- ・神奈川県の「LINE コロナお知らせシステム」への参加協力を促すポスターを掲示
- ・学習室、プレイルーム、小・中会議室、工芸室、音楽室、図書コーナーに空気清浄機を設置
- ・体育室及び2階トイレ洗面所の自動水栓化
- ・夏季には、熱中症対策として注意報発令による注意喚起や室温管理、水分補給の励行等も実施
令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染予防対策や熱中症予防などに最善を尽くし、新型コロナウイルス感染予防で得たノウハウをインフルエンザ予防対策等にも活かします。

令和4年度 阿久和地区センター自主事業計画書(案)

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	お菓子工房Keimin春のスイーツ	一般	12名	5月	1	7,500
2	癒しのヨガ	どなたでも	30名	5月～2月	10	80,000
3	気軽に健康体操	どなたでも	30名	5月～2月	10	60,000
4	台湾の家庭料理	一般	12名	6月	1	7,500
5	クラフトテープで作るステキな小物	どなたでも	12名	6月～7月	4	32,000
6	～日常の道具を大切に～ 包丁の研ぎ方を学ぼう	どなたでも	10名×5回	6～2月 (隔月)	5	30,000
7	音楽で脳トレ	どなたでも	20名	6月～12月 (8月除)	6	36,000
8	いやしのアロマテラピー	どなたでも	10名×2回	7月	2	12,000
9	クラフト工作	どなたでも	16名	7月	1	7,500
10	星空あんない☆ 天体観測～夏～	どなたでも	20名	8月	1	13,500
11	おとなの読み聞かせ	どなたでも	当日直接 10名	9～12月	4	4,000
12	健康ウォーキング	どなたでも	20名	9月～10月	5	30,000
13	日本史講座	どなたでも	20名	9月～10月	4	32,000
14	日本史講座 ゆかりの地巡り	どなたでも	20名	10月	1	8,000
15	お菓子工房Keimin秋のスイーツ	一般	12名	10月	1	7,500
16	自主・ワンパク共催事業 HAPPYハロウィン	どなたでも	当日直接 50名	10月	1	30,000
17	わびさびの雰囲気を味わう 盆栽づくり	どなたでも	10名	10月	1	12,000
18	中華まん作り	どなたでも	12名	11月	1	6,000
19	親子でスマホ相談	どなたでも	10組	11月	1	11,000
20	星空あんない☆ 天体観測～冬～	どなたでも	20名	11月	1	13,500
21	コットンパールネックレス	どなたでも	16名	12月	2	16,000
22	自主・ワンパク共催事業 HAPPYクリスマス	どなたでも	当日直接 50名	12月	1	30,000
23	エンディングノートを書いてみよう！ ケアプラザ共催	どなたでも	20名	1月	1	0
24	昔ながらの味噌作り	どなたでも	24名	1月	1	12,000
25	旬の食材を使って春の家庭料理	一般	12名	3月	1	6,000
26	ふれあい落語	どなたでも	当日直接 30名	3月	1	12,000
27	ミニコンサート	どなたでも	当日直接 30名	未定	1	12,000
28	カローリング 阿久和北部南部連合・ケアプラザ共催	どなたでも	当日直接 30名	4月～3月	12	12,000
合 計					81	540,000

令和4年度 阿久和地区センター自主(ワンパク)事業計画書(案)

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	小中学生バドミントン教室	小・中学生	20名	4・6・8・10月	4	31,000
2	小中学生卓球教室	小・中学生	20名	5・7・9・11月	4	31,000
3	瀬谷図書館の出張『ひよこのおはなし会』in阿久和	乳幼児と保護者	10組20程度	5月	1	1,000
4	和に親しむ・茶道-おもてなしの心-	小学生	10名	6月	1	12,000
5	切り絵の七夕飾り	小・中学生	10名	6月	1	9,000
6	おもしろ何でもチャレンジ	どなたでも (事前募集もあり)		7月	1	—
7	原中学校ボランティアによる夏休みの おはなし会	乳幼児と保護者	8組16程度	7～8月	3	8,000
8	クラフトテープで作る フォトフレーム	小学生 (小学2年生以下は保護者同 伴)	10名	8月	1	13,000
9	みまもりつき！学習ルーム	小・中学生	15名程度	8月	1	6,000
10	親子でアイシングクッキー	小学生と保護者	5組 (10名)	9月	1	15,000
11	楽しく♪リトミック	1～3歳児と保護者	10組 (20名)	9～10月	3	22,000
12	瀬谷図書館の出張『ひよこのおはなし 会』in阿久和	乳幼児と保護者	10組20程 度	10月	1	1,000
13	自主・ワンパク共催HAPPYハロウィン	どなたでも	50	10月	1	4,500
14	これって「SDGs」？	小学生と保護者	10組(20名)	11月	1	13,000
15	子ども陶芸教室	小・中学生	10名	11月	1	16,000
16	自主・ワンパク共催HAPPYクリスマス	どなたでも	50	12月	1	4,500
17	クリスマスの人形劇	乳幼児と保護者	10組前後	12月	1	10,000
18	和に親しむ・書道-書初めに挑戦-	小3～中学生	10名	12月	1	11,500
19	子どもダンス教室 ヒップホップを踊ろう	小学生	20名	1月	4	36,000
20	和に親しむ・華道-花を活けるとは-	小学生	10名	2月	1	12,000
21	子供の台湾料理	小学3～6年生	10名	2月	1	13,500
合 計					34	270,000

令和4年度 阿久和地区センター自主事業(共通)計画(案)

(ニーズ対応費で対応)

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	おもしろ何でもチャレンジ	どなたでも	自由参加 (事前募集もあり)	7月	1	220,000
2	センターまつり	どなたでも	自由参加	2月	1	270,000
合 計					2	490,000

令和4年度 「横浜市阿久和地区センター」 収支予算書兼決算書
(令和4.4.1～令和5.3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	39,847,000		39,847,000		39,847,000	横浜市より
利用料金収入	2,600,000		2,600,000		2,600,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	464,000		464,000		464,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	702,000	0	702,000	0	702,000	
印刷代	100,000		100,000		100,000	
自動販売機手数料	502,000		502,000		502,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（カラオケ使用料・預金利息等）	100,000		100,000		100,000	
収入合計	43,613,000	0	43,613,000	0	43,613,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,060,000	0	22,060,000	0	22,060,000	
給与・賃金	19,923,000		19,923,000		19,923,000	館長・副館長及び時給職
社会保険料	1,739,000		1,739,000		1,739,000	
通勤手当	200,000		200,000		200,000	常勤職員
健康診断費及びイクリエンガ予防接種補助	60,000		60,000		60,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	18,000		18,000		18,000	
中小企業退職金共済掛金	120,000		120,000		120,000	
事務費	2,364,000	0	2,364,000	0	2,364,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	出張旅費
消耗品費	927,000		927,000		927,000	事務消耗品費
会議賄い費及び諸費	21,000		21,000		21,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	250,000		250,000		250,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	361,000	0	361,000	0	361,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等
その他	279,000		279,000		279,000	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	400,000		400,000		400,000	
施設賠償責任保険	36,000		36,000		36,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	26,000		26,000		26,000	
リース料	223,000		223,000		223,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	1,274,000	0	1,274,000	0	1,274,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,274,000		1,274,000		1,274,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
管理費	13,467,000	0	13,467,000	0	13,467,000	
光熱水費	5,526,000	0	5,526,000	0	5,526,000	
電気料金	2,550,000		2,550,000		2,550,000	
ガス料金	1,792,000		1,792,000		1,792,000	
水道料金	1,184,000		1,184,000		1,184,000	
清掃費	2,689,000		2,689,000		2,689,000	日常・定期清掃費
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
機械警備費	345,000		345,000		345,000	
設備保全費	2,907,000	0	2,907,000	0	2,907,000	
空調衛生設備保守	1,515,000		1,515,000		1,515,000	
消防設備保守	64,000		64,000		64,000	
電気設備保守	244,000		244,000		244,000	
害虫駆除清掃保守	43,000		43,000		43,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	1,041,000		1,041,000		1,041,000	植栽管理・給水設備・ルート回収・ピアノ調律等
共益費	0		0		0	
公租公課	1,982,000	0	1,982,000	0	1,982,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,982,000		1,982,000		1,982,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
本部分	1,500,000		1,500,000		1,500,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
ニーズ対応費	966,000		966,000	0	966,000	
支出合計	43,613,000	0	43,613,000	0	43,613,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

令和4年度阿久和地区センター自己評価表

え

目標設定の視点	あ 計画内容及び運営目標 第34条第1項・第2項 第43条第1項・第4項	い 計画内容及び運営目標に対する実績	う 今後の取組 (改善計画)	第34条第2項 第43条第4項	自己評価
利用者サービス	事業計画書 (2) ウ 公の施設としての管理 <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用については、地域の皆様にとって身近な公共施設として、気持ちよく利用していただくために、「正確・丁寧・公平・迅速」に利用者の視点に立った、適正な管理運営を行います。 施設及び設備については、安全かつ清潔・快適を重視した管理・運営に努めます。 施設の管理運営費は、市民が負担した市税を原資とする指定管理料によって賄われていることを十分認識し、その経費削減に努めます。 (4) エ 利用者ニーズの把握と運営への反映 <ul style="list-style-type: none"> アンケート、利用者会議、「お問い合わせメール」、ご意見箱による要望等により幅広い年齢層のニーズ把握に努めます。 利用者サービス第一を念頭に、把握した利用者ニーズや地域ニーズを実現させるために、柔軟な発想で迅速な対応に努めます。 指定管理施設館内に「ご意見ダイヤル周知ポスター」を掲示し、利用者の声を反映した施設運営に努めます。 (4) オ 利用者サービス向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> サービス向上については、寄せられたご意見・要望等の原因分析と説明責任や情報提供に努めます。 (対応状況については、センター員会や利用者会議等で報告します。) 				第43条第1項

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・笑顔とさわやかな対応に努めます。
(利用者アンケートでは、「非常に満足」、「やや満足」合わせて毎年 90%以上の評価をいただいている、引き続き満足いただけるよう挨拶の実施や親切な対応に努めます)。・季節感のある館内装飾に努めます。
(5月は五月人形・鯉のぼり、7月は七夕笹飾り、10月はハロウィン飾り、12月はクリスマス飾り、1月は正月飾り、3月はお雛様を飾ります。)・図書コーナーの充実に努めます。
(話題の本や学校の課題図書の配架に努めます。)・新型コロナウイルスの感染予防対策が引き続き必要とされた場合、対策を継続します。
(令和3年度に行った次の対応を引き続き実施)<ul style="list-style-type: none">・入館時に検温、消毒・マスク着用等の注意喚起・体育室と2階入口に、来館者用の自動検温機を設置・体育室、2階入口、図書コーナー、プレイルーム、2階トイレに消毒液を設置・各部屋に加湿器を設置・飲食コーナーの机にアクリル板等の設置・部屋利用後に、スタッフによる消毒・換気の実施
(利用者には、使用物品の消毒をお願い)・神奈川県の「LINE コロナお知らせシステム」への参 加協力を促すポスターの掲示・トイレ洗面台の自動水栓化※インフルエンザや熱中症等の予防にも対応します。 | | |
|--|--|--|

	<p>事業計画書</p> <p>(4) ア 設置理念を実現する運営内容</p> <ul style="list-style-type: none"> センター委員会、利用者会議、ご意見箱、ホームページお問合せフォーム等に寄せられた利用者のニーズや意見を反映した施設運営を行います。 <p>(4) イ 利用促進策</p> <ul style="list-style-type: none"> センターだより、ホームページ(HP)等を活用して、事業紹介を行うほか、地域情報誌に積極的に情報提供を行い、利用促進に努めます。 利用者団体の会員募集について、積極的に支援を行います。 (会員募集支援イベントとして「初夏のサークル体験会」、ホームページやセンターだよりの発信、Twitter、利用団体の会員募集ポスター掲示、会員募集チラシの配架等) <p>(4) キ 本市重要施策に対する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境への配慮について 横浜市節電・省エネ対策基本方針に従い、室内温度の設定など環境対策に取り組みます。 (こまめな消灯、LED化の推進、可能な限り冷暖房の温度設定の協力依頼を周知) <p>(5) 自主事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児から高齢者まで、誰でも気軽に参加でき、相互交流と地域コミュニティの醸成を支援するための事業を実施します。なお、事業企画に際しては、同じ区民施設協会・せや傘下の瀬谷センターと類似事業の実施時期や内容について協力や調整を行い、より多くの方が参加できるよう進めます。 (ヨガ等の体操や歴史講座、料理教室、瀬谷区の各スポーツ協会の協力を得て、カローリング教室、バドミ 		
業務運営			

	<p>ントン教室、卓球教室、ハロウィン・クリスマスイベント、瀬谷図書館との共催で幼児を対象とした「ひよこのお話会」、「おもしろ何でもチャレンジ」、「センターマつり」を企画します。)</p> <p>(6) 施設及び設備の維持管理計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市の「公共施設の長寿命化基本方針」に基づき、施設の安全性と利用しやすさを確保するため、施設点検結果に基づく補修を行うほか、器具・備品等の更新を行います。 		
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3) イ 個人情報保護等の体制と職員研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の引継ぎやスタッフ会議等を通じて、職員、スタッフの情報共有を図ります。 (4月、6月、9月、11月、12月、2月の休館日に全員参加の会議を実施し、情報共有を図ります)。 各職場において、指定管理者として遵守すべき法及び条例の趣旨の周知をはかるため、「個人情報保護研修」を実施します。 利用者の方々に気持ちよく利用していただくため、コミュニティスタッフには、必要な一定の知識と資質が求められることから、「人権研修」を実施します。 併設されている阿久和地域ケアプラザと合同で、消防訓練を年2回実施します。 来年度新採用スタッフには、実務を早く習得していただくため、3月に基本知識や実務体験の研修を実施します。 		
財務	<p>事業計画書</p> <p>(7) イ 増収策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度も、新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言に伴う臨時閉館や閉館時間の変更、感染防止の 		

	<p>ための部屋利用の人数制限、体育室の個人利用時間帯の利用制限などをせざるをえない状況があったこと。また、利用者の活動自粛による利用予定のキャンセル等が多く発生し、部屋の稼働率は大幅に減少しました。令和4年度は感染防止策の徹底を図りつつ、事業内容や実施方法を工夫することで、令和3年度実績を上回ることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に対し、登録団体立上げのための情報提供を行うほか、地区センターＨＰを活用し、利用者を増やすよう努めます。 ・利用登録団体の、会員募集支援イベントを実施するほか、利用団体の紹介や会員募集の広報活動による支援を通じて、センター利用の喚起に努めます。 		
	<p>(7) ウ 支出計画の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出削減策の検討 電気設備については、不要不急の照明の消灯や LED 化を通じて、節電に努め、光熱水費の削減に努めます。 		
	<p>(4) カ ニーズ対応費の用途（地区センターのみ）</p> <p>安全で、快適にご利用いただけるよう、利用者のご要望にお応えしていくほか、次の用途に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古くなった設備や備品について、順次更新します。 ・体育室内配備の団体利用者向けのスポーツ器具を整備します。 ・各部屋をより快適に利用していただくための設備や備品を整えます。 		
その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)			

利用者等 の意見			
-------------	--	--	--

『自己評価』

- A : 計画、目標を上回って実施
- B : 計画、目標を保持して実施
- C : 計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載